



新年のごあいさつ

新十津川町長
植田 満

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございませう。希望に満ちた平成27年の新春をご健勝のうちにお迎えになられたことを心よりお喜び申し上げますとともに、昨年、町政に賜りましたご支援に対し深く感謝を申し上げます。

昨年を顧みますと、2月には第22回冬季ソチオリンピックがロシアで開催され、羽生選手の金メダルや葛西選手の銀メダル獲得など、日本選手の活躍が感動を与えました。

また12月には小惑星探査機「はやぶさ2」を搭載したH2Aロケットの打ち上げが成功しました。小惑星の地下物質の採取により生命の起源に迫る成果が期待され、次世代を担う子どもたちへ夢や希望を与えるプロジェクトが進められております。

北海道においては、12月から奥津軽いまべつと新函館北斗間でH5系を使用した新幹線の走行試験が開始され、今後、開業とともに道内への波及効果が期待されております。

本町では、平成14年度から建設を進めてきた徳富ダムが、4月1日に供用を開始しました。堤長309m、堤高78.4mのダムは、洪水調節などの治水と上水道の水源確保、農業用水の安定供給に期待が寄せられております。

基幹作物である水稲は、冷夏の予報により心配をいたしました。予報が覆され好天に恵まれ豊作の年となりました。



新年のごあいさつ

新十津川町議会議長
長谷川 秀樹

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げますとともに、日頃より町議会運営につきまして、格別なご理解とご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

地方のことは地方が決める、内政の主体は市町村となる、地方が国の意思決定に加わる、という分権改革のもと、地方自治体は、自らの判断において地域の諸問題に取り組み責任が課せられることになり、その果たす役割は日々大きくなってきております。

また一方で、地方自治体においては、厳しい財政状況と少子高齢化の急速な進展などにより、地域社会の活性化への対応がますます厳しくなっております。そのため、地方自治体には、今まで以上に的確な分析力と長期的、将来的な政策が必要であり、環境、地域経済、コミュニティ、医療、福祉、教育、防災、防犯などの諸課題に対する意欲的な取り組みと挑戦が求められております。

そのような中、町議会は、二元代表制の下で、町長、その他の執行機関との立場や権能の違いを踏まえ、常に緊張感のある関係を保ちながら、町政を取り巻く環境の変化を的確に捉え、直面する諸課題を把握し、町民の皆さまの福祉の向上と町政の発展に寄与していかねばなりません。

出荷確約数量に対する割合は11・9%、低タンパク等高品質な米が収穫されましたが、腹白未熟米等の割合が高く、あらためて自然を相手にした農作物生産の難しさを強く感じたところでありませう。

7月には、中空知5市5町による「中空知定住自立圏」が誕生し、今後、医療・福祉・教育産業振興・防災・地域公共交通などの分野について、中空知圏域の将来像やそれぞれのまちの具体的な取り組みについて検討が進められております。

本町においては、昨年から人口減少に少しも歯止めをかけるため、町内で新築住宅、中古住宅を取得した方に助成金を交付する定住促進事業を始めております。

転入人口の増加と転出の抑制に一定の効果を見ておりますので、これからも事業の実施とともに、まちの魅力を高め長く住んでいただけるまちづくりに努めてまいります。

私が町長に就任して2期8年が経過いたしました。この間、皆さまの期待と信頼に応えるため全力で町政運営に取り組んでまいりましたが、ここにあらためて町民の皆さまのご支援ご協力に心から感謝を申し上げます。

平成27年度は、骨格予算となりますが、第5次総合計画を基本に、「ささえあう、ふれあう、いきがい、安全安心なまちづくり」をテーマとして、町民の皆さまが笑顔でいられるまちを目指してまいります。

本年も格段のお力添えをいただきますようお願い申し上げますとともに、皆さま方のご多幸をご祈念いたしまして年頭のごあいさついたします。

そのためにも町民の皆さまとしっかりと向き合い、町の将来を皆さまとともに見つめていくため、平成24年より議会報告会を行い、いろいろなご意見に耳を傾けながら議会活動に取り組んできました。

特に昨年は、行政区のほか女性団体や商工会、さらには、農業団体との意見交換を行うことができ、より充実した議会活動ができた1年となりました。ここにあらためまして感謝とお礼を申し上げます。

本年は、統一地方選挙の年となります。この任期中、身近な議会、開かれた議会の実現を目指し、議会運営に努めてまいりましたが、まだまだ足らぬところがあり、十分に住民の皆さまのご期待に添えていない部分もあるかと思ひます。今期残された時間はわずかですが、議員一同、心を一にし、やり残したところ、不十分などところにつきましては、英知をしばって、私たちの住む新十津川町が、更なる発展と希望の持てる夢いっぱいふるさとになれるよう、努力してまいります。

新春に臨み、町民の皆さまのご健勝を心からご祈念申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして、幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

また、これまでにお寄せいただいた多くの皆さまの声に感謝申し上げますとともに、新議会に向けて格別のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

未年のできごと

〈120年前 1895年・明治28年〉
町内 2月 私立新十津川文武館開校

世界 4月 日清戦争終結、講和条約締結

〈108年前 1907年・明治40年〉
町内 4月 一級町村制施行

国内 9月 上徳富士功組合設立認可

国内 7月 北海道鉄道会社鉄道函館・小樽間国有となる

〈96年前 1919年・大正8年〉
町内 6月 開村30年記念祭

世界 6月 ベルサイユ講和条約締結

〈84年前 1931年・昭和6年〉
町内 天候不順のため大凶作

10月 札沼線鉄道、沼田・中徳富間開通

世界 9月 満州事変勃発

〈72年前 1943年・昭和18年〉
町内 6月 村内青年学校を統合、新十津川青年学校となる

国内 4月 東京・名古屋地方に米軍機襲来

〈60年前 1955年・昭和30年〉
町内 4月 融雪水害、災害救助法の適用発動

国内 7月 陸上自衛隊滝川駐屯部隊設置

〈48年前 1967年・昭和42年〉
町内 11月 「新十津川豊年音頭」制定発表歌謡コンクール大会開催

国内 2月 初の「建国記念の日」

〈36年前 1979年・昭和54年〉
町内 1月 第1回全町子どもかるた(下の句)大会

12月 開基90周年記念映画「おおいなる新十津川」完成

国内 10月 木曾の御嶽山有史以来初噴火

〈24年前 1991年・平成3年〉
町内 4月 物産館オープン

7月 文化伝習館オープン

10月 NHKドラマスペシャル「新十津川物語」明治編放映

国内 3月 新宿に東京都庁完成

世界 12月 ソ連解体

〈12年前 2003年・平成15年〉
町内 4月 吉野地区活性化センターオープン

国内 4月 日本でSARS(重症急性呼吸器症候群)を新感染症に指定

8月 プロ野球北海道日本ハムファイターズ誕生